

神戸市会議員



岡田ゆうじ

市会議員団市政報告

真剣勝負！神戸再生宣言！

- 【岡田ゆうじプロフィール】 ●昭和 53 年 6 月 25 日生まれ (39 歳)
●慶應義塾大学法学部卒、慶應義塾大学大学院法学研究科修士課程修了
●国会議員政策担当秘書資格試験に合格●参議院議員末松信介政策担当秘書
●平成 29 年 10 月神戸市会議員補欠選挙にて 27,279 票を得て初当選

2018.3

No. 5 舞子駅バリアフリー化

平成30年第1回定例会市会、いわゆる「2月議会」が2月20日スタートいたしました。会期は6月26日までの4ヶ月余にわたります。

2月議会の最も重要な議題は、**平成30年度当初予算の審議**であります。市会での審議に先立ち、わが自民党市議団は会派としての予算要望を市当局に対し提出しております。

要望自体は多岐にわたりますが、私からは、漁業振興、**JR垂水駅東口・舞子駅のバリアフリー化**、小東山六丁目交差点等の渋滞解消、図書館・消防団・歯科医療等の予算拡充等について、特に要望をさせていただきました。

予算審議に先立ち、市当局からの回答が返って参りましたが、今号では特に「**JR垂水駅東口・舞子駅のバリアフリー化**」の要望及び回答、予算額等について、裏面にて詳しくご報告をさせていただきたいと思っております。

特に舞子駅については、バス降り場から改札までに至る長い階段について、エスカレーターを設置して欲しいとの要望が多く寄せられています。駅周辺には一応一つずつエレベーターとエスカレーターが備えられてはいるのですが、改札から150mぐらい離れているので、バスから乗り継ぐ利用客も**往復300mの迂回をしなければならず**、大変不便で**利用する方はほとんどいません**。

JRを動かせるような大きなうねりになるまで、引き続き訴え続けて参りたいと思っております。



J R垂水駅東口と J R舞子駅のバリアフリー化について



J R垂水駅東口と J R舞子駅について、改札やホームに至る長い階段についてエスカレーターを設置するなど、地域のお年寄りの利便性に配慮したバリアフリー化を行うことを更に粘り強く J R西日本に要請し、実現できるように、あらゆる可能性を検討して欲しい。

(「会派『自由民主党』要望書」P.3No.3-(10) 及び P.8No.6-(23))

本市では、鉄道事業者に対して、毎年市長名の要望書を手渡し、エレベーター・エスカレーター等設置をはじめとした鉄道駅舎のバリアフリー化について強く働きかけている。

J R西日本からは、「エレベーター・エスカレーター等設置については、国の方針に基づき 1 日平均乗降客数が 3,000 人以上のバリアフリー未整備駅を対象に、平成 32 年度までに順次整備を進めている。垂水駅については、西口改札およびプリコ垂水改札からの移動円滑化経路を整備済みであるため、舞子駅については、駅南東側に移動円滑化経路を整備済みであるため、**現在のところ新たにエレベーター・エスカレーター等を設置する計画はない**」と聞いている。

本市としては、今回の要望を J R西日本に伝えるとともに、補助制度にも 2 経路目の整備に対する支援の用意をしているほか、J R垂水駅について、**地域の要望が多いため重点要望駅と位置づけ、J R西日本に対し、2 経路目の整備を要望している**。また、今後もバリアフリー化整備のほか、安全確保のための設備整備や人的対応をはじめとしたソフト面のサービス向上などについても併せて、**引き続き働きかけていく**。

なお、J R舞子駅の駅前広場については、電車・バス・タクシーなどの相互の乗り継ぎの利便性やバリアフリー経路を考慮して、デッキやエスカレーター、エレベーターなどを配置しており、バリアフリーの経路は確保しているが、**歩行者動線や既存施設の有効な活用方法も含めて、総合的に駅前広場のあり方を検討していきたい**。



神戸市
保健福祉局
建設局

実現：平成 30 年度予算

鉄道駅舎エレベーター等設置補助 2 億 9,905 万円
鉄道駅舎エレベーター等整備資金融資 9,843 万円
まちなか拠点整備 200 万円



「垂水区で長生きして良かった」と思える街にしたい

神戸市議員 垂水区 岡田ゆうじ

〒655-0044 神戸市垂水区舞子坂 3-15-9-3F
TEL : 078-785-5171 / FAX : 078-785-5172

岡田ゆうじ
ホームページ
mail@okadayu.ji.net
www.okadayu.ji.net

